

令和 4 年度

遠軽町社会福祉協議会

事業報告書

(自 令和4年4月1日 ～ 至 令和5年3月31日)

社会福祉法人 遠軽町社会福祉協議会

令和4年度 遠軽町社会福祉協議会事業報告書

令和4年度の我が国の経済状況は、コロナ禍からの社会活動の正常化が進む中で、緩やかな持ち直しが続いていますが、その一方で、ロシア・ウクライナ戦争の影響により、世界的なエネルギー・食料価格の高騰など経済環境は、依然として厳しい状況にあります。

これらは、地方経済にも波及し当地方も業況が悪化しました。

このような状況の中で、当協議会は、新型コロナウイルス感染対策を講じて、地域福祉事業、並びに在宅福祉事業、及び介護サービス事業等を行ってきました。

また、少子高齢化、過疎化による人口減少及び新型コロナウイルス感染症などの社会的要因で、高齢者や障がい者を取りまく生活環境は、厳しい状況にある中で、当協議会は、「ともに支え合う安心・安全・福祉のまちづくり」を基本目標とし、令和4年度の事業を実施し、地域福祉、並びに在宅福祉の推進を図って参りました。

以下のとおり、令和4年度の事業報告をいたします。

1 地域福祉活動の推進

地域住民が抱える生活上の問題も多様化し複雑化するなか新型コロナウイルス感染症の拡大に注意を図りながら、地域福祉推進のため事業を実施しました。

(1) 小地域福祉活動推進事業（小地域ネットワーク事業）

各自治会において、高齢者（一人暮らし）に対して地域においての見守り、声かけ、地域ふれあい交流会など地域住民活動の推進を図るため、次のとおり各自治会に対し助成支援を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民がふれあう交流会は、実施できませんでした。

助成支援状況

（単位：円）

年 度 地区名	令和 4 年度		令和 3 年度		比 較		備 考
	自治 会数	助成額	自治 会数	助成額	自治 会数	助成額	
遠 軽 地 区	27	858,070	26	861,450	1	▲3,380	
生田原地区	20	228,700	20	235,550	0	▲6,850	
丸瀬布地区	12	189,750	12	188,750	0	1,000	
白 滝 地 区	8	60,000	8	60,000	0	0	自治会長連絡協議会に一括交付
合 計	67	1,336,520	66	1,345,750	1	▲9,230	

(2) 地域型ふれあいサロン（カフェ）の実施

地域サロン・カフェは、絵手紙や陶芸など月1回程度開催し、年々参加者も増えてきました。参加者は、40代から80代と幅広く、毎月の例会を楽しみに参加されていたところです。

しかしながら、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど開催されませんでした。

◆サロン・カフェ活動状況

区分 地区名		サロン名（内容）	開催回数	利用人員 （参加人数）	備 考
遠 軽	社協主体	中央サロン（絵手紙・ちぎり絵）	12回	145人	毎月開催 会場・げんき21
	地域自主 サロン 社協支援	南町2丁目 陶芸サロン	0回	0人	吉田宅2階 地域住民参加 （2ヶ月に1回開催）
	社協と 共 催	西地域陶芸サロン （西町1, 2, 3、山の手、清川自治会）	午前0回 午後0回	0人	陶芸・会場花の苑 （自治会員・花の苑入所者）
	自治会 主 体 社 協 支 援	南町第2自治会 ふれあい サロン	1回	22人	会場 南町公民館 陶芸
	自治会 主 体 社協支援	東町第1自治会 陶芸サロン	0回	0人	会場 基幹集落センター
	自治会 主 体 社協支援	東町第3自治会 陶芸サロン	0回	0人	会場 向遠軽公民館 （自治会員）
生田原	社 協 主 体	生田原サロン （絵手紙を楽しむ会）	11回	65人	毎月開催・会場生田原 図書館（地域高齢者・地域 住民）
		生田原カフェてらす	0回	0人	毎月開催・会場かぜる西 （地域住民）町・福祉関 係法人職員の協力を得 ている。
		陶芸サロン	0回	0人	会場 生田原福祉センター かぜる西
丸瀬布	社 協 主 体	おしゃべりサロン （絵手紙・ちぎり絵・消しゴムスタンプ）	11回	30人	毎月開催・会場丸瀬布ふれ あいセンター
白 滝		ほのぼの陶芸サロン	0回	0人	会場 生きがいセンター

(3) 地域ふれあい交流等事業の実施

地域住民と障がい者、高齢者や子どもたちがふれあい交流を通じて相互間の理解を深め、社会参加等を図ることを目的にした事業ですが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。

◆ 各地区のふれあい広場事業

事業名	区分	実施日	実施場所	参加人員
			事業内容	
遠軽地区 健康とふれあいの 広場2022		月 日 ()	遠軽町保健福祉総合センター	名
			「障がいを持つ人、お年寄り、若者、子どもたち」と町民がふれあい、優しさ、思いやりを伝えあい、多くの人々に福祉に対する理解と関心を広め福祉の推進を図り、併せて、「自分の健康は自分で守る」という理解と関心を広める事業です。 令和4年度も実行委員会で協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。	
白滝地区 ふれあいほのぼの 納涼祭2022		月 日 ()	遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター (ほのぼの)	名
			普段、外出機会の少ない高齢者の社会参加を促進し、高齢者と住民が同じ場所に集い語り合える場所を提供し、世代間交流を図る事業です。 令和4年度も実行委員会で協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。	
丸瀬布地区 ふれあいと健康の 広場まるせっぷ 2022		月 日 ()	丸瀬布中央公民館	名
			地域で生活する子ども、高齢者や障がい者に対する地域住民の励ましや助けあい、支えあいや思いやりのある温かな地域づくりの実現、また、共に健康で安心して暮らせる地域づくりを目的とした事業です。 令和4年度も実行委員会で協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。	

◆ふれあい交流事業

地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
遠 軽	第17回 社協 会長杯ゲート ボール大会	9月21日(水)	遠軽高齢者 スポーツセン ター	参加者 地区高齢者4チーム21名 遠軽町長・社協役職員 5名 計26名
	3地区の高齢者がゲートボール大会を通して交流を深め、また、健康増進を図ることを目的とする事業です。 令和4年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策を行い実施しました。			
	手づくり フェスタ	月 日 ()	保健福祉総合 センター (げんき21)	参加者 高齢者・障害者・児童一般 者 約 名ほか、ボラン ティア 名 計 名
	高齢者や障がい者が手作りした作品を通じて、多くの町民が集まり、福祉に対する関心と理解を深め、絵手紙・陶芸・革工芸等の親子体験コーナーで、体験交流を図ることを目的とする事業です。 令和4年度も実行委員会で協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。			
	区分事 業名	実施日	実施場所	参加人員等
	障がい者ふれ あいパークゴ ルフ交流会	9月28日(水)		参加者 遠軽地区精神障がい者 9名 地区住民ボランティア 15名 社協役職員 7名 計31名
	遠軽地区の精神障がい者と地区住民(学田パークゴルフ愛好会)とが、パークゴルフを通じて交流を図る事業です。 令和4年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策を行い実施しました。			
	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
	カレンダー リサイクル広場	月 日 ()	遠軽町 福祉センター	参加者約 名
	家庭、企業や団体等で使われていないその年のカレンダーを寄附していただき、安価で販売して、収益金を地域福祉事業に役立てるとともに紙資源として、カレンダーをリサイクルし、環境保全の一助とする事業です。 令和4年度は、実行委員会で協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。			

地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
生田原	ふれあい交流会	月 日 ()		参加者 70 歳以上の独居高齢者・ 介護予防高齢者 名 社協職員 名 計 名
	<p>生田原地区の70歳以上の独居高齢者を対象に、バス旅行を通して交流を深める事業です。 令和4年度もバスで移動中の「3密」が避けられないとの当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。</p>			
地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
生田原	異世代交流会	月 日 ()	生田原小学校	児童 名、教職員 名 しらかば大学 名 社協職員 名 計 名
		月 日 ()	安国小学校	児童 名、教職員 名 しらかば大学 名 社協職員 名 計 名
	<p>生田原地区内の小学校児童としらかば大学（遠軽町教育委員会高齢者大学）の学生がそれぞれ昔の遊びを通して交流を図る事業です。 令和4年度も学校及び教育委員会と当協議会との協議の結果、児童及び高齢者大学の学生の新型コロナウイルス感染を防止するため、中止としました。</p>			
地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
丸瀬布	おしゃべりサロン「会食会」	月 日 ()		参加者 名 社協役員 名 計 名
	<p>70歳以上の一人暮らし・2人暮らしの高齢者夫婦・サロンの参加者を対象に行っている事業です。 令和4年度もバスで移動中の「3密」が避けられないとの当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。</p>			

地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
白 滝	白滝地区ふれあい交流会	月 日 ()	高齢者総合生活福祉センターほのぼの屋外（玄関前・駐車場）	参加者 デイサービス 名 ほのぼの入居者 名 老人クラブ会員 名 保育所児童・保育士 名 学童保育・小学生 名 サロン利用者 名 民生児童委員 名 総合支所職員 名 社協役職員 名 <u>計</u> 名
				<p>白滝地区のデイサービス利用者、ほのぼのサロン利用者（入居者）、老人クラブ会員、地域の子供（保育所・小学校児童）が一堂に会し、ほのぼの体操やゲーム通じて、夏場における地域の世代間交流を図る事業です。</p> <p>令和4年度も当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。</p>
地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
白 滝	白滝地区ふれあい交流日帰りバスツアー	月 日 ()		参加者 デイ利用者 名 デイ（家族） 名 ほのぼの入居者 名 ふれあい・ほのぼの・のびのびサロン 名 社協役職員 名 民生委員 名 <u>計</u> 名
				<p>普段から外出の機会が少ない白滝地区在住の概ね70歳以上の高齢者、障がい者、ほのぼの入居者及びふれあいほのぼのサロン参加者等を対象として、バスツアーを行い交流する事業です。</p> <p>令和4年度もバスで移動中の「3密」が避けられないとの当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から中止としました。</p>

地区名	区分		実施日	実施場所	参加人員等
	事業名				
白滝	白滝ふれあいもちつき大会		月 日()	高齢者総合生活福祉センターほのぼの	参加者 デイ利用者 名 保育所 名 消防署職員 名 民生児童委員 名 総合支所職員 名 サロン利用者 名 社協役職員・評議員 名 計 名
	<p>地域の高齢者（施設入居者、デイサービス通所者、生きがいデイサービス通所者）と地域の子供達、サロン利用者、民生委員児童委員、行政職員、社会福祉協議会役職員、評議員が餅つきを通して、地域の世代間交流を図る事業です。</p> <p>令和4年度も当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止としました。</p>				

◆ふれあい郵便事業

一人暮らしの高齢者を対象に、ボランティアに新型コロナウイルスの感染の予防対策を図りながらハガキや絵手紙を書いていただき、送付または配食にあわせて配付を行い高齢者との交流を図りました。

・遠軽地区

- ・絵手紙サロン 中央サロン
絵手紙作成（毎月） 配食世帯に2か月に1回程度で配付
※ 南が丘サロンは、解散しました。

・生田原地区

- ・北光学園ボランティアサークル
生田原地区（生田原地域・安国地域の満70歳以上の一人暮らしの高齢者へ手紙を送る。（毎月）

(4) 福祉総合相談業務

福祉総合相談業務を行い住民の様々な相談に応じました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で経済的な相談が数多くありました。

・遠軽地区

- 定例相談 毎週火曜日 遠軽町保健福祉総合センター（社協相談室）
相談員（民生委員・児童委員46名に委嘱し、社協役職員とともに相談に応じている。）

随時対応 遠軽町保健福祉総合センター
相談員（社協役職員）
相談件数 147件（内訳 開設日2件、電話相談85件、相談日以外の
来所相談60件）

・生田原地区
随時対応 遠軽町社会福祉協議会生田原地区事務所
相談員（社協職員）

・丸瀬布地区
随時対応 遠軽町丸瀬布ふれあいセンター
相談員（社協職員）

・白滝地区
随時対応 遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター
相談員（社協職員）

(5) 安心・安全・福祉のまちづくり推進

全国的に、振込詐欺等の特殊詐欺による被害が後を絶ちません。全国において振込詐欺撲滅運動が展開されているなかで、町内各関係機関と連携し、地域住民が住み慣れた地域で「安心して安全に生活できる」ことを目指し、被害防止活動に取り組みました。

令和4年度の活動は、次のとおりです。

地区名	区分	実施日	実施場所	備考
	事業名			
4地区	悪質訪問販売被害防止活動	令和4年4月 ～令和5年3月	4地区全域	全地区巡回
	「悪質訪問監視車両」と印字したマグネットステッカーを車両に貼って、4地区のヘルパー等が訪問車両13台に乗って毎日運行、被害の未然防止啓発に努めています。			
遠軽	区分	実施日	実施場所	参加人員等
	事業名			
	消費者被害防止啓発活動	令和4年 月 日 ()	遠軽地区 (カ所)	訪問啓発 (世帯)
一筆会（絵手紙ボランティア）の協力を得て、作成した被害防止用絵手紙を活用し、遠軽警察署員と、社協職員とで、遠軽地区の配食サービス利用者を対象に訪問し絵手紙を配付して、消費者被害防止の啓発活動を行う予定でしたが、令和4年度も遠軽警察署との協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から、中止としました。				

遠 軽	シバザクラ満 開凧上げ大会	令和4年 月 日 ()	太陽の丘 えんがる公園 虹の広場	親子参加者 名、社協 役職員、絵手紙同好会・ 一筆会・警察署員・曹友会 (計 名) 計 名
	<p>親子やボランティアが制作した「特殊サギ被害防止用啓発凧」などの凧をあげ、子供たちへの昔遊びの伝承と防犯の啓発活動を行う事業です。</p> <p>令和4年度もコロナ禍の影響でシバザクラ満開イベントが中止になったこと、また、当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から中止としました。</p> <p>なお、凧上げ会場で遠軽警察署長に贈呈する予定だった「特殊サギ被害防止・交通安全の啓発凧」は、7月29日(木)制作者2名が代表して、遠軽警察署を訪問し、長谷川署長に贈呈しました。</p>			

(6) 会員の拡大活動（一般会員・特別会員）

自治会連合会、各自治会の全面的な協力をいただき、令和4年度も会員拡大を図ってきました。遠軽地区においては、前年度対比で一般会員数が78世帯の増、特別会員が8件の増となり、全体の一般会員数は、22会員の増となりました。他の3地区においては、年々少しずつ減少しております。

4地区全体では、28会員の増となりました。

過疎化や少子高齢化の社会的要因による人口減少の影響はありますが、今後においても、更に、会員拡大の取組みに努めなければならないところです。

令和4年度の会員加入状況は、次のとおりです。

社協会員（一般・特別会員）加入状況（R5.3.31現在、一般は世帯数、特別は件数）

地 区		令和4年度	令和3年度	比 較	備 考
遠 軽	一 般	3,480 世帯	3,402 世帯	78 世帯	
	特 別	425 件	417 件	8 件	
	計	3,905 会員	3,819 会員	86 会員	
生田原	一 般	635 世帯	669 世帯	△34 世帯	
	特 別	8 件	9 件	△1 件	
	計	643 会員	678 会員	△35 会員	
丸瀬布	一 般	565 世帯	575 世帯	△10 世帯	
	特 別	29 件	28 件	1 件	
	計	594 会員	603 会員	△9 会員	

白 滝	一 般	242 世帯	254 世帯	△12 世帯	
	特 別	15 件	17 件	△2 件	
	計	257 会員	271 会員	△14 会員	
合 計	一 般	4,922 世帯	4,900 世帯	22 世帯	
	特 別	477 件	471 件	6 件	
	計	5,399 会員	5,371 会員	28 会員	

(7) 各福祉団体育成事業の推進

令和4年度も以下の団体の活動に対して、財政援助及び支援協力を行いました。

◆老人福祉活動助成支援

◇遠軽町老人クラブ連合会（4地区全体）

◇単位老人クラブ（令和5年3月末現在 4地区11クラブ・会員数576名
[前年度701名]）

（内訳 遠軽地区8クラブ・生田原地区1クラブ・丸瀬布地区1クラブ・白滝地区1クラブ）

（助成総額85,000円 [前年度109,690円]）

◆心身障がい児・者福祉活動助成支援

◇身体障がい者福祉協会遠軽分会（令和4年度は助成を辞退）

◇遠軽ことばを育てる親の会

◇北海道難病連遠軽支部（令和4年度は助成を辞退）

◇NPO法人遠軽町手をつなぐ育成会かたつむりの会

◆児童福祉活動の推進

◇遠軽町子ども会育成連合会

◆民生委員活動への助成支援

◇遠軽町民生委員児童委員協議会

◆その他福祉団体の活動への支援

◇遠軽町遺族会（令和4年度は助成を辞退）

(8) 募金運動の推進

イベント募金として開催する予定であった令和4年度の「歳末チャリティー芸能の集い」は、開催会場において「3密」が避けられないとの遠軽町共同募金委員会の判断で「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から中止となりました。

街頭募金は、新型コロナウイルス感染対策を行い、遠軽地区は、シティ、プラザコープ、コープみなみ、ダイソー、生田原地区は、遠軽信金生田原支店、えんゆう農協生田原支店、丸瀬布地区は、道の駅まるせっぷ、白滝地区は、高規格道路パーキングエリアにおいて、10月1日から11月10日までの間に募金活動を行いました。

遠軽地区においては、募金ボランティアとして、遠軽地区自治会連合会、身体障害者福祉協会遠軽分会、遠軽高校インターアクトクラブ、遠軽高校生徒有志、

遠軽高校定時制、遠軽小学校児童会、東小学校児童会、南中学校生徒会、北光福祉会各施設職員、NPOさわやか（職員・メンバー）、NPOかたつむりの会（職員・メンバー）、くらしネットLink（職員・利用者）、遠軽信金職員、民生委員児童委員、社協理事、評議員及び社協職員、個人ボランティアの総勢551名、生田原地区においては、民生委員児童委員、福祉推進委員、社協理事、評議員、社協職員合わせて15名、丸瀬布地区においては、民生委員児童委員、福祉推進委員、保健推進員、役場総合支所職員、丸瀬布福祉会、社協理事・評議員、社協職員合わせて23名、白滝地区においては、民生委員児童委員、役場総合支所職員、日赤奉仕団、白滝小学校教員、社協理事、評議員、社協職員合わせて22名、全地区総勢604名（前年度560名）の皆さんに募金活動への協力をいただき、740,172円（前年度813,172円）の募金が集まりました。

このほかに、大口募金（遠軽地区62名）のほか、自治会の一括募金（遠軽地区・生田原地区・丸瀬布地区・白滝地区）、学校募金など全町的な協力を得たところであり、令和4年度の赤い羽根共同募金目標額4,340,000円に対して、募金総額は、4,797,578円となり、目標額より457,578円の増加となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも目標額を超える募金を集める事ができました。

(9) 広報活動の推進

「社協だより」は、年6回発行しました。また、丸瀬布地区においては、地元紙「やまなみ」に社協ニュース（月3回）を掲載し、事業計画、お知らせや行事案内など細かな広報活動に心がけ進めてきました。

(10) 福祉学習の推進

豊かな福祉の地域づくりを進めるため、町内の学校等と連携を深めながら、福祉教育として、福祉体験学習を実施しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、福祉に関する学習は、若干減りました。

遠軽小学校

・「車イス体験」 7月14日（水） 講師 社協職員4名

安国中学校

・「車イス体験」 11月15日（火） 講師 社協職員3名

遠軽中学校

・「車イス体験」 1月18日（水） 講師 社協職員4名

・「認知症サポーター養成講座」 1月31日（火） 講師 社協職員2名

南中学校

・「車イス体験」 2月14日（火）・17日（金） 講師 社協職員4名

(11) ボランティア活動の推進

ボランティア発掘・育成、活動の推進のため、ボランティアセンターでは、次のような事業を行ってきました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なイベントが中止となったために、ボランティアの派遣も行うことができませんでした。(ボランティア派遣0回、延べ0人)

また、老人生きがい事業指導員設置事業の事業移行により、陶芸ボランティア講座は廃止となりました。

①ボランティア協力校指定事業

当協議会が指定した町内の学校並びに指定団体は、各地区においてボランティア活動に取り組んでいますが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で各地区で開催されるふれあい交流や福祉イベントが中止となり、小規模の活動となりました。

◇町社協指定

・遠軽小学校	・東小学校	・南小学校
・生田原小学校	・安国小学校	・丸瀬布小学校
・白滝小学校	・遠軽中学校	・南中学校
・生田原中学校	・安国中学校	・丸瀬布中学校
・白滝中学校	・北海道紋別養護学校ひまわり学園分校	
・遠軽高校（定時制）	計15校	

②青少年ボランティア活動推進事業

将来の担い手となる青少年を育成するために、町内の青少年ボランティアサークルをボランティア活動協力の指定団体としましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動は制限されました。

・北光学園ボランティアサークル

③ボランティア研修会等への参加

令和4年度網走地区災害ボランティア組織連携会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。

令和4年度オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラムはオンラインでの開催となりました。

④ボランティア活動等の広報事業

社協だよりにより、住民へ周知を行いました。

⑤ボランティア登録者の募集

年間を通じて、個人ボランティア並びにボランティア団体の登録を行いました。

・個人登録2名、団体なし

⑥個人ボランティア・ボランティア団体との連絡調整

ボランティア派遣の要請を受け、個人ボランティア並びにボランティア団体との連絡調整を行いました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各地区で開催されるふれあい交流や福祉イベントが中止となったことから、ほとんど調整はありませんでした。

⑦ボランティア活動保険の加入促進

安心してボランティア活動をしていただけるように、ボランティア活動保険の加入を促進するため、社協だより等を通じて呼びかけました。

2 在宅福祉サービス事業の推進

社協の活動エリアは広範囲ですが、地域に密着した体制のなかで、きめ細かな在宅福祉サービスを展開し、新型コロナウイルス感染の防止対策を講じながら、次のとおり事業を実施しました。

(1) 町受託事業

◆配食サービス事業

調理を行う事が困難な在宅の高齢者や、障がい者に対し週2回を限度として夕食を配食しながら安否確認も併せて行う町の委託事業です。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら事業を行いました。

前年度と比較して、介護予防・日常生活総合事業対象者の配食数は、511食と大きく増加しました。その他の対象者の配食数も218食と増加しました。

配食サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）

（単位：食・人）

地区別	年度	令和4年度 (配食数)	令和3年度 (配食数)	比 較	利用対象者	
					4年度末	3年度末
遠 軽		3,337	2,678	659	38	32
生田原		474	589	△115	6	7
丸瀬布		276	422	△146	4	3
白 滝		283	170	113	5	2
計		4,370	3,859	511	53	44

配食サービス（その他）

（単位：食・人）

地区別	年度	令和4年度 (配食数)	令和3年度 (配食数)	比 較	利用対象者	
					4年度末	3年度末
遠 軽		4,195	3,942	253	46	44
生田原		535	355	180	9	4
丸瀬布		1,131	1,293	△162	13	10
白 滝		1,051	1,104	△53	14	12
計		6,912	6,694	218	82	70

◆外出支援サービス事業

要支援の高齢者や重度の障がい者を通院やリハビリ等のために、医療機関等への送迎を行う町の委託事業です。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、外出支援サービスを行いました。

前年度と比較して利用状況は、利用延人員が丸瀬布地区、白滝地区で増加し、全体で、121人の増加となりました。

利用対象者は、前年度と比較して全地区で減少し、89人の減となっています。

外出支援サービス

(単位：人)

年度 地区別	令和4年度 (利用延人員)	令和3年度 (利用延人員)	比 較	利用対象者	
				4年度末	3年度末
遠 軽	667	667	0	48	61
生田原	556	697	△141	34	76
丸瀬布	341	133	208	16	27
白 滝	197	143	54	11	34
計	1,761	1,640	121	109	198

◆在宅介護用品支給事業

遠軽町からの受託事業で、介護保険要介護3・4・5の認定者、及び重度の障がい者（児）が対象となり、町民税非課税世帯の家庭で介護されている介護者に対して、経済的な負担の軽減を図るため、介護用品（紙オムツ・紙パンツ・尿取りパッド）を現物支給するものです。

遠軽地区と生田原地区は、民生委員児童委員の方々が配付しており、丸瀬布地区は、社協職員が配付しています。

令和4年度は、白滝地区に対象者はいませんでした。

前年度より対象者が増加し、延利用者数も増となりました。

対象者・支給状況

(単位：人)

地区別	年 度 人 員	令和4年度	令和3年度	比 較	備 考
	延利用者数	155	154	1	
生田原	対象者	3	2	1	
	延利用者数	27	24	3	
丸瀬布	対象者	1	1	0	
	延利用者数	10	12	△2	

白 滝	対象者	0	0	0	
	延利用者数	0	0	0	
計	対象者	20	16	4	
	延利用者数	192	190	2	

※対象者は令和5年3月31日現在です。

◆地域包括支援センター事業

遠軽町からの委託受け高齢者等の身近な相談窓口として、高齢者やその家族が、保健・福祉サービスによる必要な支援が総合的に受けられるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、各関係機関と連携・調整を図り相談援助を行いました。

年間の相談援助等の総件数は、町の介護予防・日常生活支援事業が、地域住民に理解されたと思われ、相談件数は前年度より大幅に増加しました。

遠軽町地域包括支援センター相談援助等実績

(単位：件)

内 容		年 度		
		令和4年度	令和3年度	比 較
件 数		4,194	3,700	494
形 態	新 規	291	235	56
	継 続	3,903	3,465	438
相 談 形 態	訪 問	1,845	1,403	442
	電 話	1,725	1,778	△53
	来 所	306	260	46
	そ の 他	318	259	59
相 談 者	本 人	2,683	2,446	237
	家 族	1,712	1,358	354
	地 域 住 民	12	11	1
	介護支援専門員	95	113	△18
	医療・福祉関係機関	818	715	103
	民生委員児童委員	13	8	5
	そ の 他	18	33	△15
業 務 内 容	健康・医療に関する事	1,619	1,317	302
	介護保険制度に関する事	1,765	1,598	167
	他の保健・福祉サービスに関する事	479	488	△9
	施設入所に関する事	266	193	73
	実態把握・相談助言	2,352	2,159	193
	住宅改修に関する事	298	230	68
	介護用品に関する事	553	396	157
	連絡・調整	2,539	2,277	262
	生活に関する事	596	437	159
	ケアマネ支援	44	44	0

	成年後見	3	0	3
	困難事例	21	9	12
	消費者被害	0	1	△1
	虐待・介護放棄	3	14	△11
	その他	29	26	3
会議	ケアマネ会議	36	33	3
	地域ケア会議	41	36	5
	グループホーム運営推進会議	13	14	△1
	個別ケース会議	210	188	22
	その他	444	460	△16
	講師派遣	18	12	6

◆生活支援体制整備事業

高齢者の日常生活のニーズを調査するとともに地域資源の状況を把握し、高齢者が住みなれた地域で自立した生活が送れるよう取組みを行うため、町の委託を受け「生活支援コーディネーター」を配置しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動は制限されましたが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業を実施しました。

生活支援コーディネーター活動実績

(単位：件)

内 容	年 度	令和4年度	令和3年度	比 較
地域のニーズ並びに地域資源 状況の可視化及び問題提起		65	6	59
地縁組織等多様な主体への 協力依頼等働きかけ		28	6	22
関係者のネットワーク化		36	28	8
目指す地域の姿並びに方針の 共有及び意識の統一		32	30	2
生活支援の担い手の養成及び サービスの開発		27	31	△4
ニーズとサービスの マッチング		38	33	5

◆在宅介護支援センター事業

高齢者が住みなれた地域で生活を継続することができるよう、町から在宅介護支援センター事業の委託を受けています。生田原・丸瀬布・白滝地区の各地区において、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、高齢者やその家族が、保健・福祉サービスによる必要な支援が総合的に受けられるよう、各関係機関と連携、調整を図り相談援助を行いました。相談援助等の総件数は、前年度との比較では丸瀬布地区は大幅に増加し、生田原地区・白滝地区は減少しました。

令和4年度在宅介護支援センター相談援助等実績表（3地区）

（単位：件数）

地 区		生田原地区			丸瀬布地区			白滝地区		
年 度		R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較
件 数		1,122	1,240	△118	1,173	811	362	935	945	△10
形態	新規	34	34	0	22	8	14	8	20	△12
	継続	1,088	1,206	△118	1,151	803	348	927	925	2
相談形態	訪問	679	755	△76	586	388	198	532	577	△45
	電話	267	307	△40	920	548	372	288	301	△13
	来所	38	34	4	7	3	4	132	99	33
	その他	138	144	△6	0	8	△8	22	17	5
相談者	本人	733	795	△62	677	466	211	558	549	△9
	家族	684	691	△7	787	492	295	362	358	4
	地域住民	5	5	0	1	2	△1	1	9	△8
	医療・福祉機関	86	97	△11	230	113	117	152	206	△52
	サービス事業所	138	189	△51	530	212	318	115	95	20
	その他	3	6	△3	1	1	0	8	16	△8
業務内容	健康・医療に関すること	821	844	△23	734	486	248	307	304	3
	介護保険制度に関すること	935	1,109	△174	971	601	370	528	463	65
	他の医療・福祉サービス	168	120	48	253	210	43	46	39	7
	施設入所に関すること	46	34	12	37	5	32	39	56	△17
	住宅改修に関すること	5	17	△12	16	15	1	7	18	△11
	介護用品に関すること	55	49	6	117	52	65	19	35	△16
	虐待・権利擁護	9	3	6	0	1	△1	0	1	△1
	その他	49	35	14	7	1	6	88	75	13
対応調整	申請代行	31	28	3	10	9	1	16	35	△19
	他機関紹介	9	5	4	0	0	0	0	0	0
	一時支援	64	55	9	5	1	4	35	43	△8
	調整・ケース会議	858	1,010	△152	1,151	786	365	201	147	54
	状況確認	1,065	1,208	△143	1,054	626	428	713	703	10
	助言指導	148	221	△73	0	0	0	40	16	24
	その他	14	1	13	0	8	△8	37	43	△6

◆高齢者共同生活支援施設運営事業

遠軽地区に設置されている施設で、入居高齢者の生活を支援する町からの委託事業です。「みのり荘」「第2みのり荘」に各1名の支援員を配置し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、365日24時間体制で入居者の食事や日常生活のお世話など入居者の生活支援を行いました。

（両施設共に定員9名）

◆高齢者総合生活福祉センター管理運営事業

白滝地区に設置されているセンターの管理運営委託を町から受けています。
このセンターの居住部門において、入居者が安心して暮らせるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、生活支援を行いました。

(365日24時間体制で援助員1名が常駐)

令和4年度末の入居の状況は、16居室のうち11室が利用されており、12名が入居しています。

◆生活管理指導短期宿泊事業

町の委託を受け、白滝地区の「高齢者総合生活福祉センターほのぼの」において、家族が留守にするなど介護が出来ない場合、短期間の宿泊利用をする事業です。令和4年度は、利用者がいませんでした。

◆障がい者（児）移動支援事業

町の委託を受け、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、及び児童を対象に、障がい者（児）の社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動など外出移動の際の移動介護を支援するものです。

遠軽地区の身体障がい者に新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、ヘルパーを派遣しサービスを提供しました。

利用延べ回数は、前年度に比べ減となりました。

年度 地区	令和4年度 (利用延回数)	令和3年度 (利用延回数)	比較
遠 軽	40	45	△5

※実利用者数は令和5年3月31日現在 1名

◆障がい者（児）居宅介護等事業

町の委託を受け、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、及び児童を対象に、障がい者総合支援事業の対象にならない方に通所サービスを提供するものです。

令和4年度は、利用がありませんでした。

◆要介護認定に係る調査業務

町の委託を受け、介護保険の要介護認定を受ける方のために、社協の介護支援専門員が新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、自宅等を訪問し、調査業務を行うものです。

当事業所の介護支援専門員も減っている中で、調査業務の延件数は、前年度と比較して、16件の減となりました。

調査件数		(延件数)		
区 分 年 度	施 設	在 宅 I	在 宅 II	合 計
令和4年度	0	201	4	205
令和3年度	0	221	0	221
比 較		△20	4	△16

(2) 社協独自在宅福祉サービス事業

◆在宅介護用品貸与事業

在宅で生活する方のために、介護用品の無料貸出しを行いました。介護保険を利用できない方に対する退院後の生活支援、介護用品のレンタルまでのつなぎ、購入までの試用、旅行や行事での利用など、短期で緊急的な要望に応じてきました。令和2年度より、新型コロナウイルス感染防止対策として、貸与品の消毒代を利用者に負担していただいています。

令和4年度の実績は次のとおりで、貸出総件数は、前年対比で45件の増となりました。

在宅介護用品貸与事業（無料）実績

(単位：件)

物 品 名		遠 軽	生田原	丸瀬布	白 滝	合 計
ベ ッ ド 関 連	ベッド	11(8)			(1)	11(9)
	マットレス	11(8)			(1)	11(9)
	サイドレール	10(8)			(1)	10(9)
	介助バー・手すり	9(8)	(2)		(1)	9(11)
	ベッド用テーブル	(3)				(3)
	エアーマット					
	点滴棒					
歩 行 関 連	車いす	32(21)	1(3)	3	19(21)	55(45)
	歩行器	43(21)	3(2)	1(1)		47(24)
	シルバーカー	(4)			4(2)	4(6)
	4点つえ	13(8)	1(1)	2(3)	(1)	16(13)
	つえ					
	松葉つえ	2(1)				2(1)
	スロープ	3(1)				3(1)
	車いす用クッション	2(1)				2(1)

入浴関連	シャワーチェア	19(14)	1(1)	2		22(15)
	浴槽台	9(6)	(3)		(2)	9(11)
	バスグリップ	18(12)	(4)	(3)	(2)	18(21)
	バスマット					
	バスボード	(1)				(1)
居室用関連	手すり	22(18)	2(1)	2(3)	1(2)	27(24)
	手すりストッパー	(1)		2(3)		2(4)
	ポータブルトイレ	11(8)			1	12(8)
合 計		215(151)	8(17)	12(13)	25(34)	260(215)

※ () 内は前年度の貸出延べ件数

◆介護用品支給事業（社協独自の紙オムツ等無料配付）

町から委託を受けている在宅介護用品支給事業を補完するため、介護の必要な在宅高齢者（要介護1以上）並びに在宅重度身体障がい者（児）を対象として、紙オムツ、紙パンツ、尿取りパッドを支給しました。介護用品の延利用者数は、全体で82人の増となりました。

介護用品支給状況

（単位：人）

地区別		年度	令和4年度	令和3年度	比較	備考
		人員				
遠 軽	対象者		76	73	3	
	延利用者数		698	661	37	
生田原	対象者		26	18	8	
	延利用者数		186	155	31	
丸瀬布	対象者		9	11	△2	
	延利用者数		113	98	15	
白 滝	対象者		7	6	1	
	延利用者数		46	47	△1	
計	対象者		118	108	10	
	延利用者数		1,043	961	82	

※対象者は令和5年3月31日現在です。

◆はざま支援事業

この事業は、公的制度に該当しない高齢者等に対して、訪問介護サービス、配食、洗濯などのサービスを行うものです。

令和4年度の年間利用者総数は、前年度と比べて増となり、利用料も前年度より増となりました。

利用状況

(単位：人、回、時間、円)

通所介護 (回数)					訪問介護 (時間)				30分延長毎に料金の1/2額を追加
年度	料金	基本	昼食	入浴	料金	家事	家事以外	身体	
	利用者	1,500円	実費	500円		利用者	1,800円	2,600円	
R4	0人	0回	0	0	17人	5.5時間	3時間	21時間	
R3	0人	0回	0	0	17人	1時間	3時間	25.5時間	

配食 (食)				洗濯 (回数)		合計	
年度	料金	該当	他	料金	1,500円	年間利用者総数	金額 (総額)
	利用者	400円	600円				
R4	62人	1,118食	0食	0人	0回	79人	512,300円
R3	40人	1,069食	0食	6人	10回	63人	503,200円

◆おせち料理配付事業 (生田原地区において実施)

70歳以上の一人暮らしの高齢者で、一人で年末年始を自宅で過ごされる方のうち、配付を希望される方を募り、一部自己負担、1,500円をいただき、おせち料理を12月31日に生田原地区役職員、評議員、地域福祉推進委員が33世帯に配付しました。

この事業に合わせて、遠軽絵手紙同好会の方々が作成した「手づくり箸袋」を配りました。

◆年越し料理配付事業 (丸瀬布地区において実施)

概ね75歳以上の虚弱高齢者世帯及び高齢の夫婦世帯から希望を募り、一部自己負担1,500円をいただき、年越し料理を12月31日に丸瀬布地区の地域福祉推進委員等4名、民生委員児童委員6名及び社協職員1名の計10名で10世帯に12食を配付しました。

この事業に合わせて、遠軽絵手紙同好会の方々が作成した「手づくり箸袋」を配りました。

◆障害者総合支援事業 (障がい者ホームヘルパーサービス・デイサービス)

障害者総合支援法による道の事業所指定及び町の事業指定を受け、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、障がい者へのヘルパー派遣及び通所サービスを行いました。

ヘルパー事業の延利用者数は、前年度と比較して、494人の減となりました。

通所サービスは、白滝地区のデイサービスセンターほのぼの白滝の利用者が1人で、延利用者数は、前年度と比較して21人の減となりました。

障がい者ホームヘルパーサービス（遠軽地区）

（単位：人）

事業所	年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	令和5年3月31日 現在利用実人員
	利用人員				
遠軽町社協ホームヘルパーステーション	延利用者数	929	1,423	△494	6

障がい者支援・デイサービスセンターほのぼの（白滝地区）

（単位：人）

人 員	年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	令和5年3月31日 現在利用実人員
	延利用者数	48	69	△21	1

◆日常生活支援サービス事業

高齢または障がい（知的障がい、精神障がい、その他）により日常生活の判断能力に不安があり、在宅で生活している方または在宅で生活する予定の方に、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理（通帳預かり、金銭管理、口座管理、借入金返済支援、支払支援）など1名の方に支援を行いました。

◆高齢者等在宅生活サポート事業

令和4年度より実施した新事業であり、既存の制度だけでは対応がむずかしい高齢者等の日常的な“ちょっとした困りごと”に対して、在宅生活をサポートするために、有償ボランティア（地域住民）を派遣し、支援を行いました。

利用状況

人 員	年 度	令和4年度
	支援利用者数	1人
	延支援利用者数	19人
	延ボランティア派遣数	19件

3 介護保険事業

(1) 訪問介護事業（ホームヘルパーサービス）

4地区、3か所での知事の事業所指定を受け、サービス提供を行っています。ホームヘルパーサービスは、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、生活支援の中での家事援助、通院のための乗降介助等を行っています。

令和4年度の事業所別、介護区分別の利用状況は、次のとおりです。

◆遠軽地区訪問介護事業所

遠軽地区で実施しているホームヘルパー事業です。令和4年度は、ヘルパー職員のなかで、新型コロナウイルス患者が出た事業所や病院を利用したサービス利用者と接点があった者について、職務免除による自宅待機としました。

当事業所のヘルパー職員は、2018年度の事業所統合時の延べ月平均17人（常勤換算7.0人）から、2022年度は、延べ月平均10人（常勤換算3.1人）と減員しました。

このことにより、訪問介護の延利用者数は、全体で313人の増となりました。

遠軽地区訪問介護事業

(単位：人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和4年度	延利用者数	1,300	2,206	1,408	73
令和3年度	延利用者数	1,583	2,118	922	53	29	4,705
比較	延利用者数	△283	88	486	20	2	313

◆生田原地区訪問介護事業所

生田原地区で実施しているホームヘルパー事業です。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業を行ってきました。

また、ヘルパーの補完できない中で事業を進めてきました。

事業の実績は、前年度と比較して延利用者数全体では、37人の増となりました。

生田原地区訪問介護事業

(単位：人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和4年度	延利用者数	487	494	228	0
令和3年度	延利用者数	497	570	105	0	0	1,172
比較	延利用者数	△10	△76	123	0	0	37

◆白滝・丸瀬布地区訪問介護事業

白滝・丸瀬布地区で実施しているホームヘルパー事業です。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業を行ってきました。

事業の実績は、前年度と比較して延利用者数全体では、448人の増となりました。

白滝・丸瀬布地区訪問介護事業

(単位：人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度	延利用者数	767	1,503	365	64	0	2,699
比較	延利用者数	427	△200	90	104	27	448

◆介護予防・日常生活支援総合事業（第1号訪問事業）

町から事業所の指定を受け、介護予防・日常生活支援総合事業（第1号訪問事業）の要支援者、事業対象者にサービスを提供しています。令和4年度は、ヘルパーが減員となった中で事業を行ってきました。事業の実績は、前年度との比較では、遠軽地区が175人の増、生田原地区が263人の減、白滝・丸瀬布地区が156人の減となり、事業所全体では、244人の減となりました。

総合事業（第1号訪問事業）

(単位：人)

年度	事業所 人員	遠軽地区 訪問介護事業所	生田原地区 訪問介護事業所	白滝・丸瀬布地区 訪問介護事業所	合計
令和3年度	延利用者数	629	946	628	2,203
比較	延利用者数	175	△263	△156	△244

(2) 通所介護事業（デイサービス）

遠軽地区2ヶ所、白滝地区各1ヶ所、3事業所において道、及び町の事業所指定を受け、通所介護事業（デイサービス）を行いました。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業を行ってきました。

令和4年度の事業所別、介護区分別の利用状況は、次のとおりです。

◆デイサービスセンターのびやか

遠軽町保健福祉総合センター（げんき21）内において、定員1日30名の通所事業を月曜日から金曜日まで（祝祭日を含む。）行いました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休業や時間短縮営業を余儀なくされた期間がありました。また、利用者においても、コロナ感染症の予防として通所を休む方も出ました。事業の実績は、延利用者数が前年度と比較して全体で68人の減となりました。

なお、遠軽高校定時制の生徒をボランティアとして受け入れ、授業として行う福祉学習の場として協力をしていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため休止しています。

デイサービスセンターのびやか

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和4年度	延利用者数	1,332	1,320	543	276
令和3年度	延利用者数	1,308	1,337	686	315	259	3,905
比較	延利用者数	24	△17	△143	△39	107	△68

◆デイサービスのびやか2条通

遠軽町2条通南1丁目で行っている定員1日9名の地域密着型通所事業です。

利用者は、認知症や大勢のデイサービスになじめない方が利用しています。

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休業や時間短縮営業を余儀なくされた期間がありました。また、利用者においても、コロナ感染症の予防として通所を休む方も出ました。

全体の延利用者数は、前年度との比較では、146人の増となりました。

デイサービスのびやか2条通

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和4年度	延利用者数	145	802	100	50
令和3年度	延利用者数	174	503	262	12	0	951
比較	延利用者数	△29	299	△162	38	0	146

◆デイサービスセンターほのぼの白滝

白滝地区の遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター(ほのぼの)内で行っている利用定員10名の地域密着型通所事業です。令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休業を余儀なくされた期間がありました。

全体の延利用者数は、前年度と比較して、93人の減となりました。

デイサービスセンターほのぼの白滝

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和4年度	延利用者数	597	751	460	9
令和3年度	延利用者数	649	809	452	0	0	1,910
比較	延利用者数	△52	△58	8	9	0	△93

◆介護予防・日常生活支援総合事業（第1号通所事業）

町から事業所の指定を受け、介護予防・日常生活支援総合事業（第1号通所事業）の要支援者、事業対象者にサービスを提供しています。

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休業や時間短縮営業を余儀なくされた期間がありました。また、利用者においても、コロナ感染症の予防として通所を休む方も出ました。全体の延利用者数は、前年度と比較して、69人の減となっておりますが、廃止したのびやか東を除くと、40人の増となりました。

総合事業（第1号通所事業）

（単位：人）

年度	事業所 人員	のびやか	のびやか東	のびやか 2条通	ほのぼの白滝	合 計
令和4年度	延利用者数	1,276	0	226	264	1,766
令和3年度	延利用者数	1,197	109	203	326	1,835
比 較	延利用者数	79	△109	23	△62	△69

(3) 認知症対応型共同生活介護事業（ぐるーぷほーむ春來）

認知症により、自立した生活が困難になった方が、住み慣れた地域のなかで家庭的な雰囲気のもと共同生活ができるように支援しています。また、訪問看護ステーション「にじ」との医療連携体制（週1回の訪問看護）を行い、入居者の健康保持に努めています。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、居住者の生活支援を進めてきました。

入居者の要介護度は、次のとおりで、待機者は、3月末現在で32名となっております。

春來入居者状況

（単位：人）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0	3	3	1	2	9

※令和5年3月末現在

(4) 小規模多機能型居宅介護事業（小規模多機能ほーむきなり）

自宅と同じような小規模な施設で家庭生活の環境が維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」を組み合わせた介護サービスを提供するもので、登録定員は、24名（通い定員1日12名、泊まり定員4名）です。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、利用者の生活支援を進めてきました。全体の延利用者数は、前年度比で392人の減となりました。

小規模多機能ほーむ きなり

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和 4年度	延利用者数	115	265	2,056	820	0	344
令和 3年度	延利用者数	318	12	2,132	943	145	392	0	3,942
比較		△203	253	△76	△123	△145	△48	0	△392

4 公益事業

(1) 居宅介護支援事業（介護計画作成）

介護認定を受け介護保険を使ってサービスを受けるためには、サービス計画を立てなければなりません。この計画を立てる者が、居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）です。

当事業所の今年度末、5名の介護支援専門員が業務に従事しています。

介護支援専門員は、要介護者本人やその家族（介護者）と一緒に、要介護者が在宅で生活するためには何が必要であるのかを考え、ホームヘルプサービスやデイサービス、ベッドのレンタルなどの計画を作成します。

令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、利用者の介護計画作成を進めてきました。

全体の延利用者数は、前年度と比較して17人の減となっています。

居宅介護支援

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和 4年度	延利用者数	519	643	268	64
令和 3年度	延利用者数	513	652	291	60	41	1,557
比較		6	△9	△23	4	5	△17

(2) 福祉用具貸与・販売・住宅改修事業

在宅で生活するために、必要な福祉用具の貸与、販売、住宅改修等を行う事業です。高齢者等の在宅生活を支援して行くことを目的として、専門相談員が事業を進めています。

令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、利用者の在宅生活の支援を進めてきました。

◆福祉用具貸与事業

介護用具の貸与を希望する高齢者等は多く、貸与品目は次のとおりで、前年度との比較では、要支援者、要介護者を合せて768件の増となりました。

貸与品の増加に伴い、事業収入も増えました。

令和5年3月末の実利用者総数は343人で(要介護者250人、予防93人)前年度より15人増えています。

福祉用具貸与品目別実績表

(単位：件)

区分 品目	要介護者			要支援者(予防)			備考
	令和4年度	令和3年度	比較	令和4年度	令和3年度	比較	
車イス	882	939	△57	41	40	1	
車イス付属品	369	338	31	0	0	0	
特殊寝台	994	984	10	17	30	△13	
特殊寝台付属品	2,831	2,678	153	54	94	△40	
床ずれ予防用具	288	348	△60	1	0	1	
体位変換器	47	9	38	0	0	0	
手すり	3,494	3,305	189	1,289	1,109	180	
スロープ	899	725	174	42	29	13	
歩行器	1,343	1,394	△51	575	438	137	
歩行補助つえ	177	122	55	127	92	35	
老人徘徊感知機器	32	75	△43	0	0	0	
移動用リフト	56	41	15	0	0	0	
合計	11,412	10,958	454	2,146	1,832	314	

◆住宅改修事業

要介護者等が在宅で生活するため、介護保険の対象となる敷居の段差改修・玄関、トイレ、風呂、廊下、階段への手すり等の取付は、96件で前年度から10件の減となりました。また、介護保険の対象外の手すり等の取付は、6件の増となりました。全体の件数では、前年度より14件の減となっています。

住宅改修事業実績表

(単位：件)

年度 人員	令和4年度	令和3年度	比較	備考
介護保険対象	96	116	△20	
介護保険対象外	10	4	6	
合計	106	120	△14	

◆福祉用具販売事業

要介護者等が在宅で生活するための介護保険の対象となるポータブルトイレ、風呂イスなどの販売は、119件で前年度より9件の減となり、一般福祉用具（介護保険対象外）の販売は、前年度より18件の減となりました。

全体の販売件数も、前年度と比較して27件の減となっています。

利用者、家族の方々からは、担当者が訪問し、介護用品について説明受け、相談を行って利用者に適した用品を購入できると好評を得ています。

福祉用具販売実績

(単位：件)

年度 人員	令和4年度	令和3年度	比較	備考	
介護保険対象	119	128	△9		
介護保険対象外	170	188	△18		
合計	289	316	△27		

◆日常生活用具取扱事業

65歳以上の寝たきりの方、重度身体障がい者（児）、知的障がい者（児）などの日常生活に必要な自助具の交付を遠軽町と遠軽町社協との契約に基づき、次のとおり交付を行っています。

今年度は、2件の交付で、（前年度1件）前年度と同じ件数になりました。

交付金額は、120,000円で（前年度交付金額54,700円）65,300円の増となりました。

◆補装具取扱事業

令和4年度の実績は、0件でした。

(3) 高齢者共同生活住居管理運営（有料老人ホームえにし）

在宅と施設の「はざま」にいる支援を必要とする高齢者のため、「有料老人ホームえにし」を整備し、入居者にサービスを提供しています。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、10名の居住者の生活支援を行いました。

えにし入居者状況

(単位：人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
5	5	0	0	0	10

※令和5年3月末現在（待機者8名）

(4) 介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント

この事業は、要支援者及び事業対象者の予防介護の計画を立てるもので、地域包括支援センターにおいて、サービス計画を作成します。令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、利用者の支援を進めてきました。

計画策定の件数が多く町社協居宅介護支援事業所及び外部の居宅介護支援事業所へ一部作成を委託し実施していますが、各事業所の介護支援専門員の不足により、社協の居宅介護支援事業所や外部委託は、年々減少しております。

要支援1・2の介護予防サービス計画は、前年度より133件の増となっております。介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント全体では、前年度より35件の減となっております。

区分ごとの介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメントサービス計画作成状況は、次のとおりです。

介護予防支援サービス計画の状況

(単位：延件数)

年 度	区 分	介 護 度		
		要支援1	要支援2	合 計
令和4年度	包括直営	602	503	1,105
	社 協	25	62	87
	外部委託	34	32	66
	計	661	597	1,258
令和3年度	包括直営	467	420	887
	社 協	60	98	158
	外部委託	40	40	80
	計	567	558	1,125
比 較	包括直営	135	83	218
	社 協	△35	△36	△71
	外部委託	△6	△8	△14
	計	94	39	133

※包括直営＝地域包括支援センター

※社 協＝社協居宅介護支援事業所

※外部委託＝外部の居宅介護支援事業所

介護予防ケアマネジメント計画状況

(単位：件)

年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	備 考
件 数				
サービス提供者数	901	936	△35	

介護予防・日常生活支援総合事業対象者数

(単位：件)

年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	備 考
件 数				
事業対象者	8	17	△9	

(5) 認知症サポーター養成講座実施状況

認知症サポーター養成講座に協力し、講師として職員を派遣するとともに社協の事業のなかでも実施しました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防を図りながら講座を開催しました。認知症に関することは、地域住民の関心も高まっており、昨年度は、3回の講座開催となりました。

実施日	派遣先	場所	参加人数	キャラバンメイト（講師）
令和4年 6月23日	民協遠軽支部 (児童母子福祉部会)	町保健福祉総合 センター	12人	地域包括支援センター 保健師 橘 梨 夏
令和4年 9月20日	日本生命	町保健福祉総合 センター	11人	地域包括支援センター 保健師 橘 梨 夏
令和5年 1月31日	遠軽中学校	遠軽中学校	63人	地域包括支援センター 保健師 橘 梨 夏